

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2023
月刊

2月号

第386号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会



慈翠館の豆まき

節分

二月三日は節分です。滴翠会の各施設では利用者の皆様が「福は内、鬼は外」と元気に豆まきをしたり、柊の枝にいわしの頭を刺した「やいかがし」を飾ったりして今年一年の無病息災を祈ります。

慈翠館では、兎年の年男・年女の方七名により豆まきが行われました。玄関や非常口の三ヶ所をまわりました。

昼食では、巻き寿司、いなり寿司、いわしの生姜煮や福茶を戴きました。

二月に入り、日差しは春の訪れを感じさせるものとなってきました。だんだん春の足音が近づいています。とは言えまだまだ寒い日が続きコロナウイルスも落ち着いていません。

皆さん、風邪などを引かぬようにお気を付けてください。



新年会 獅子舞

●養護老人ホーム
てきすいえん
滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
TEL〇二九九―五九―三六三―

新年会

一月十七日、滴翠苑集会室で新年会が開催されました。

会長、施設長、利用者代表挨拶の後、乾杯し今年一年の健康を祈願しました。続いて余興に移ります。まずは毎年恒例の男性職員による獅子舞です。お囃子に合わせて獅子が華麗に舞いました。また利用者の頭を囃んで皆さんの邪気を払い、無病息災を願いました。また職員による余興を行いました。仮装をしてダンスを踊ったり、煌びやかな衣装を着てカラオケを歌ったりと様々な催しを披露し会場は大いに盛り上がりました。利用者からは「楽しかった」「衣装綺麗だった」と好評の様でよかったです。

今年も新年会を迎え、良いスタートを切る事ができました。これから楽しい生活を送れるよう支援していきます。

余暇活動

滴翠苑では、余暇活動に力を入れています。週二回カラオケクラブ、週一回文化会活動・華道会を行っています。また土曜日には趣味の会を設けています。塗り絵や手芸、ジグソーパズルなどそれぞれの趣味に合わせて自由に組みまれています。春には畑を耕して、花や野菜など植えて育てています。

コロナ禍になり、遠足や買い物等の外出する機会が減りました。高齢者の自粛生活の長期化により身体機能や認知機能の低下が社会的に問題になっています。

滴翠苑も機能低下を防止するために趣味活動の助長や体操等に積極的に力を入れて、身体機能、認知機能の維持、向上に努めてまいります。また、健康管理も徹底して健やかに生活を過ごせるよう支援してまいります。



節分「鬼は外、福は内」

節分祭

二月三日節分の日に節分祭を行いました。

集會室に集まり卯年の年男年女三名の方が紹介されました。おめでとうございます。

その後、年男年女を中心に豆まき役と鬼役に分かれて豆まきを行いました。「鬼は外！福は内！」と元気よく声を出して豆をまき、鬼を追い払って頂きました。

豆まきの後は福茶とお饅頭を戴き、今年一年の健康長寿と無病息災を祈願しました。また、昼食に五日寿司、夕食は年越しそばを戴きました。

鬼役豆まき役の皆さんありがとうございました。ございました。滴翠苑の厄を払い、今年一年幸せが訪れる事でしょう。春が近づき寒い日も後わずかですので、体調に気を付けて毎日をお過ごしください。

初詣

一月十七日に石岡市にあります常陸國総社宮へ利用者有志の方が初詣に行きました。

当日は寒さもやわらぎ、天候にも恵まれ空気が澄んでいてお参り日和でした。

現地到着して各々参拝をし自分の願い事をしました。何をお願いしたのか何うとご自身や家族の健康を願う方が多かったです。また行く時期をずらして行ったので、人も少なく静かにお参りできて良かったです。

皆さんの願い事が叶いますように、また利用者の皆さんが今年一年健康で穏やかな日々を送れますように願っています。

★2月の行事

節分祭
お誕生会

2月3日
2月28日



葉彦神社にて

●救護施設
慈翠館じすいだより

石岡市半ノ木一四六一
TEL 〇二九九―二四―二八七一

初詣外出

一月四日、石岡市半ノ木にある葉彦神社へ初詣に行つて来ました。希望者を募り、今年の参加利用者は九名となりました。

葉彦神社では用意したお賽銭をあげて、皆さん思い思いの願い事をしていました。コロナウィルス感染症が終息し外出や家族との交流が出来ますようにと願った方が多かったです。

当日は好天に恵まれ初詣日和となり「晴れて風がなくて良かった」「良い一年になるといいな」という声も聞かれました。

最後に恒例の記念写真を撮り慈翠館へと帰ってきました。

皆様にとつて、幸多き一年になりますようにお祈りいたします。

利用者の日常

慈翠館では、現在六十三名の利用者が生活しています。

朝六時半に起床し、身支度を整え決められた場所の掃除を行つてから朝食となります。その間にも自分の洗濯物を洗濯機にかけたり、配膳当番を行うなど忙しい時間です。午前中一〜二時間の作業があるので、通院や体調不良の場合を除き、全員が身体を動かしています。一日の生活のリズムを整える為にはとても重要な事です。

午後は曜日によつて「入浴」「クラブ」などがあり、それ以外にも散策や録画放映等々様々な催しが盛り沢山です。利用者はそれぞれ選択して参加しています。

なかなか外出が叶わない今、利用者の生活が単調にならないよう考え、気をつけて楽しく過してもらいたいです。



近 隣 を 散 策

散策同好会

日常の楽しみの一つとして、散策同好会があります。参加希望者の身体の状態に合わせて三つの班にグループ分けをして、月一回程度館庭や館を出て近隣の散策を行っています。

天気の良い日には、ホールに集まってボールやお手玉を使ったゲームや手遊び、又、頭の体操として、連想ゲームやしりとりを行っています。散策同好会は、職員と参加利用者のコミュニケーションに一役立っていて、皆が自然と笑顔になる楽しみの一つでもあります。

コロナ禍で、ストレスが溜まりがちになる日々の中で、身体を動かし、気分転換や健康を保つ事ができるようになると良いと思っています。

参加したいけど…と困っている方は是非、職員に話してみてくださいね。

県救協職員研修

一月二十日に茨城県の救護施設職員を対象とした研修がリモートで行われました。今回講義をして下さった成澤俊輔氏は徐々に視力を失う難病・網膜色素変性症を患いながらも、持ち前のポジティブさと視覚障害者ならではの視点を強みとして現在は約六十社の企業のコンサルティングをされています。先生の話の中で「出来る事得意な事より好きな事をしよう」という言葉がありました。私達職員は日頃利用者を支援する時、この人はこれが出る・これは出来ないという視点で見えてしまいがちです。そうではなく、その人の好きな事・やりたい事に目を向けて支援していく事が大切だと思います。

＊2月の行事

節分
誕生会

2月3日
2月16日



明翠苑の豆まき

●特別養護老人ホーム
めいすいえん
明翠苑だより

石岡市半ノ木一―四八―一―
TEL〇二九九―二三―九六二〇

節分

二月三日は節分ですので、明翠苑でも節分行事を行いました。

石岡市内の常陸國総社宮へ行き、お祓いを受けてきました。また、総社宮からいただいたきた御札・御神酒・福豆は明翠苑の玄関のお地藏様にお供えしました。

明翠苑の玄関先などの出入り口には、魔除けとして「やいかがし」を飾りました。

豆まきでは、鬼の格好をした職員に向かって、ご利用者様が「福は内、鬼は外」と元気に豆をまいてくれました。そして、午後のおやつは、福茶とお饅頭を召し上がって戴き、今年の無病息災を願いました。

明翠苑には悪い鬼を寄せつけず、たくさん福が来ることを願っております。早くコロナウイルスが終息するといいですね。

百寿のお祝い

二月一日、植田様が百歳の誕生日をお迎えになりました。

百歳の誕生日を迎え、明翠苑の皆さんでお祝いをしました。明翠苑より賞状とお花と記念品を贈りました。ご利用者様代表である万寿会会長よりお祝いの言葉もありました。

また、それに先立ち昨年の九月二十一日には、谷島石岡市長が来苑して下さり、内閣総理大臣、茨城県知事、石岡市長の褒状と記念品を届けて下さいました。ご家族も来苑し、市長より百歳のお祝いが授与されました。

植田様は、食事は残さずほぼ全部召し上がって下さいますし、職員の声掛けにも笑顔で応えて下さいます。

これからも元気に過ごして頂けるよう、職員一同支援してまいります。誠におめでとうございます。

ふあみり一通信

1月の出来事

- 1月4日 新年を迎えて、明翠苑では「年頭の辞」を行いました。会長・施設長・万寿会会長・職員の挨拶後、利用者・職員で記念撮影をしました。記念の一枚になりました。
- 1月7日 昼食に七草粥を召し上がり、胃腸をいたわることで、皆さんの今年の無病息災を願いました。
- 1月15日 小正月なので、皆さん病気などにかからないよう願って、昼食に小豆粥を召し上がりました。
- 1月16日 天気も良かったので、床等に敷いてある赤マットをブラシを使い綺麗に洗いました。ご利用者様から「外は、寒いのにご苦労様」と励ましの言葉を頂きました。
- 1月18日 ふらんす亭喫茶を実施し、一番人気は、調理員特製の「ホットケーキ」でした。
- 1月27日 ふらんす亭食事を行い、中華丼セット、魚の菜種焼き定食、パングラタンセットの中から好みの物を選んで頂き、召し上がってもらいました。皆さん「美味しい」と喜ばれていました。

明翠苑ニュース

(1月分)

面会	0件	延0名来苑
外出	0件	外泊0件
ショートステイ	1名	延21日利用

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

ものづくり

今回は、明翠苑のものづくりについて紹介します。

明翠苑では、ご利用者様や職員が模造紙や折り紙、塗り絵などで、季節に合わせた作品を作成し、各グループの食堂の壁に飾っています。

ご利用者様の中には、手先の器用な方がりハビリになるからと、編み物や工作などを毎日少しずつ頑張っている様子です。

自分のお部屋に工作専用の机を設けて、身近にある広告用紙や新聞紙などを使い、のりやガムテープを使用して器用に作られています。

その作品は、どれも完成度が高く、また季節に合った作品のため、玄関や食堂などに飾られています。

職員は、季節ごとにあった作品を模造紙の上にひとつずつ貼り合わせて作り、大きな作品を作り上げます。ご利用者様からは「すごく上手」「季節が感じられていい」「食堂が賑やかになる」などと話されています。

「ものづくり」が趣味や楽しみになれば嬉しく思います。また「ものづくり」に関わらず、明翠苑の生活のなかでそういった楽しみが見つけれられるといいですね。

これからも、職員一同ご利用者様が楽しく生活できるよう工夫して支援してまいります。



豆まきのようす

●デイサービスセンター
華翠会館だより

石岡市半ノ木一ー四八〇
 TEL〇二九九ー三三ー八二〇〇

利用者数 6名(男1名 女5名)
 節分

今日は節分です。明翠苑の職員が、豆まき役と鬼役になって華翠会館に豆まきに来てくれました。「鬼は外、福は内!」と大きな声で豆まきをし、悪いものを追い払って今年も一年良いことがありますようにと祈りました。

デイサービス日誌

2月3日(金)

利用者数 8名(男4名 女8名)
 レクリエーション 工作・ひな人形作り

今日は、ひな人形作りを行いました。2つの紙コップに細かくちぎった赤と青の折り紙を、それぞれ貼り、色鮮やかな和紙は、袖や襟に見立てて貼ります。青と赤の紙コップの上にお内裏様とお雛様の顔を付け、台座に置いて出来上がりました。

デイサービス日誌

2月16日(木)

翠すい **進**しん **会**かい

社会福祉法人滴翠会 退職職員後援会

滴翠会を退職された皆様の親睦と互助を進めます。

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一―四八―一―
TEL 〇二九九―二二二―九六三四

新常陸國風土記

(第八回)

水戸 WALKER (後編)

今回も前回に引き続き水戸の魅力に迫っていきます。水戸城跡や銘菓(木村屋本店さんの水戸の梅)を堪能した後は▼梅まつりで賑わう▼偕楽園を目指します。九代藩主斉昭公の時代(一八四二年)に造園され金沢兼六園、岡山後楽園と並ぶ三大名園の一つ。梅の時期はもちろんのこと▼春の桜や孟宗竹の緑鮮やかな夏もお勧め。四季を通じて楽しめる市民の誇りです。(▼茨城県民は身分証を提示で入園無料)▼園内好文亭からの眺めは絶景。常盤神社参拝も忘れずに。偕楽園

を満喫した後は、隣接する▼県立歴史館に歩を進めましょう。県立歴史館は古代から近現代までの茨城の歴史を詳しく知ることのできる学びの場。▼現在は最後の将軍(慶喜公)一橋徳川家の特別展示中。必見です。敷地内には▼旧水海道小学校本館(明治十四年建築)が移設。明治期の建築様式を今に伝えています。

この後は▼千波公園を目指します。近代美術館/せせらぎ広場/少年の森/ラニングコース/等があり緑地の解放感や水辺の清々しさを感じることが出来ます。偕楽園を含む面積はニューヨークセントラルパークに次ぐ世界第二位。▼ほのかな梅の香を感じながら▼ノルディックウォーキングで散策しましょう。

▼次は駅南エリアへ。駅南通り。桜川を左手に直進▼城南三丁目交差点を過ぎると▼水戸備前堀が眼前に。桜川を取水源とし潤沼川に至る農業用水。川岸は石垣で整備。堀沿いに遊歩道が整備され晴

天の日には▼澄んだ水面(みなも)の美しさが光る場所。江戸初期の用水ですが今も現役で周辺の農地を潤します。

備前堀通りを進み県道一八〇号線に合流。常陽銀行下支店信号を右折。▼右手に見える▼伊勢屋さんで散策の疲れを癒しましょう。紫の暖簾(のれん)が目印。お団子/海苔巻き寿司(お稲荷寿司)

大福等で有名ですが、昔ながらの醤油ラーメンをどうぞ。昭和の風情の店内▼懐かしい記憶が蘇ります。最後は水戸駅に戻り県内酒蔵のお酒を角打ちで楽しめる▼地酒バーへ。▼水戸明利酒類さんの▼副将軍(金賞受賞十三回)で一献。銘酒を傾け散策を振り返ります。▼歴史の転換期に幾多の俊才を育み、近代日本の礎(いしずえ)となった水戸の気風。寒風に耐え、凜として咲く梅の花のように▼健気で真っ直ぐな市民性が、美しい景観を守り、まちの歴史を紡いでいます。

ケアマネジャー 岡野 貴

私のMENU メニュー

今月のことば 88

人のうわさも七十五日

☆カブのキムチ

(1人分 40kcal)

カブの葉は実より栄養価が高く、ビタミンやカルシウムが豊富に含まれています。捨てずに一緒に食べましょう。

●材 料 (4人分)

カブ(葉付き) 3個/塩 小さじ1
 タレ: おろしにんにく 小さじ1/2/おろし生姜 小さじ1/2
 醤油 大さじ1/砂糖 大さじ1
 粉唐辛子または一味唐辛子 小さじ1/すりごま 小さじ1
 ごま油 小さじ1

●作り方

- ① カブは皮をむかずに薄くスライス、葉は食べやすい大きさに切る。
- ② 切ったカブに塩を振って軽くもみ、しばらく置いてしんなりしたら水気を絞る。
- ③ タレの材料をすべて混ぜ、そこにカブを加えてよく混ぜ合わせる。

慈翠館 栄養士 廣瀬 聡子

ご利用をお待ちしています

養 護 老 人 ホ ー ム	滴	翠	苑
救 護 施 設	慈	翠	館
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	明	翠	苑
ユ ニ ッ ト 型 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	明	翠	苑
シ ョ ー ト ス テ イ 施 設	明	翠	苑
独 立 型 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー	華	翠	会 館
明 翠 苑 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー			

職員募集中 詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医 療 法 人 高 木 医 院
 宗 教 法 人 時 宗 華 園 寺
 社 会 福 祉 法 人 滴 翠 会 退 職 職 員 後 援 会 翠 進 会

